

Mizuho Daily Market Report

2023/1/20

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	128.14	128.43	▲0.47	▲0.82
EUR	1.0811	1.0833	+0.0039	▲0.0020
AUD	0.6891	0.6910	▲0.0033	▲0.0059
SGD	1.3231	1.3217	+0.0009	▲0.0035
CNY	6.7775	6.7755	+0.0177	+0.0460
MYR	4.3168	4.3073	▲0.0085	▲0.0517
THB	33.05	33.04	+0.20	▲0.32
IDR	15105	15104	+15	▲234
PHP	54.65	54.64	+0.05	▲0.67
INR	81.35	81.36	+0.11	▲0.19

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.392%	+2.2 bp	▲4.8 bp
日本(10年)	0.441%	▲1.8 bp	▲6.9 bp
ユーロ圏(10年)	2.065%	+4.2 bp	▲9.4 bp
オーストラリア(5年)	3.057%	▲22.6 bp	▲29.3 bp
シンガポール(5年)	2.756%	▲6.5 bp	+1.8 bp
中国(5年)	2.717%	▲1.3 bp	+3.8 bp
マレーシア(5年)	3.556%	▲19.6 bp	▲24.3 bp
タイ(5年)	1.938%	▲1.8 bp	+0.8 bp
インドネシア(5年)	6.372%	▲3.2 bp	▲3.9 bp
フィリピン(5年)	5.834%	▲11.6 bp	▲34.4 bp
インド(5年)	7.123%	▲3.2 bp	▲2.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,044.56	▲0.8%	▲3.4%
N225(日本)	26,405.23	▲1.4%	▲0.2%
STOXX60(ユーロ圏)	4,094.28	▲1.9%	▲0.8%
ASX(オーストラリア)	4,234.86	▲1.1%	▲0.7%
FTSE(シンガポール)	3,276.18	▲0.4%	+0.3%
SSEC(中国)	3,240.28	+0.5%	+2.4%
KLSE(マレーシア)	1,496.22	+0.0%	+0.5%
SETI(タイ)	1,688.48	+0.2%	+0.1%
JKSE(インドネシア)	6,819.907	+0.8%	+2.9%
PSE(フィリピン)	7,062.01	▲0.5%	+3.3%
SENSEX(インド)	60,858.43	▲0.3%	+1.5%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	276.62	+0.2%	+1.0%
金	1,932.24	+1.5%	+1.9%
原油(WTI)	80.33	+1.1%	+2.5%
銅	9,326.00	+0.0%	+1.7%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	126.60	—	129.50
EUR/USD	1.0730	—	1.0880
AUD/USD	0.6900	—	0.7010
USD/SGD	1.3070	—	1.3290
USD/CNY	6.6450	—	6.7880
USD/MYR	4.1000	—	4.3430
USD/THB	32.10	—	33.30
USD/IDR	14780	—	15250
USD/PHP	54.20	—	55.10
USD/INR	80.50	—	81.80

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は128円台半ばの水準でオープン後、前日からの流れを引き継ぎ軟調推移。128円台前半まで下落後、128円台後半の水準まで反発する場面もあったが、米長期金利の低下を横目にドル円は連れ安の展開。128円を下抜けると127円台後半の水準まで下落し、海外に渡った。

アジア通貨は前日のリスクオフの流れを受けて全般的に軟調。旧正月を前にやや流動性が低下する中、人民元安に連れアジア通貨も売り優勢となった。

海外時間のドル円はクロス円が上昇する動きにサポートされ128円台半ばまで上昇した後、NYオープン。NY時間朝方は米12月住宅着工件数が予想を上回り、1月フィデリティ連銀景況指数が予想ほど悪化せず、新規失業保険申請件数も20万件を下回り、ドル円は128円台後半まで戻すが、コンズ・ホストン連銀総裁の「利上げペースの減速は適切」との発言や、株式市場が軟調に寄り付く中円買いも強まり、128円台前半まで反落する。NY時間午後は128円台半ばまで戻す局面もあったが、プレイナーFRB副議長が十分に抑制的な政策しばらく必要とのハ派な発言が伝わりドル売りが強まり、ドル円はじり安推移が続いた後、128円台半ばの水準でクロスとなった。

【金利】

米債市場では全般的に金利が上昇。新規失業保険申請件数が市場予想を下回るなど、複数の強い経済指標が米金利の上昇要因となった。

【予想】

本日のドル円は確りとした推移を予想。YCC上限を超えて推移していた日本10年債利回りは0.4%付近まで低下しており、日銀の政策修正期待による円買いも一旦落ち着いている印象。こも急な円買いが進行し短期的な下げ過ぎ感もあり、ドルの買戻しが入り易いと考え。

【本日の予定】

(日本) 12月 全国CPI
(日本) 輪番 1-3y、3-5y、5-10y、25y
(アジア) 12月 マレーシア CPI
(アジア) 12月 中国 工業利益
(アジア) 中国 LPR(1Y、5Y)
(アジア) 休場 台湾、ベトナム
(欧州) 12月 独 PPI
(欧州) 12月 英 小売売上高
(欧州) 1月 英 GfK消費者信頼感
(米国) 12月 中古住宅販売件数
(米国) ウィリアムス・NY連銀総裁講演
(米国) ウォラーFRB理事講演
(米国) ハーカー・フィデリティ連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。